

活動日	時間	天候	記録者
2019年2月14日(木)	9:30~12:00	(曇り)	(菅田)
2019年2月27日(水)	9:30~12:00		

参加者氏名 (12名+ 11名)	(2月14日) 菅田忠志、黒子兵吾、塩ノ谷年子、清水英輔、俵 貴志子、田路義弘 中西 優、橋野美子、松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進
	(2月27日) 磯野彰夫、菅田忠志、黒子兵吾、塩ノ谷年子、中西 優、橋野美子、 松本治美、水島康夫、山田喜義、米倉 進、南木久恵

今月実施した 作業内容	<ol style="list-style-type: none"> 2月14日に林内に散乱していた台風被害木を入り口倉庫前に集積、2月27日にそれをチップに掛ける作業を行った。 2月15日に里山グループがコナラ2本を間伐し、シイタケほだ木用に玉切りまで完了していた材を今回穴あけ、種コマ植菌作業を実施した。
----------------	--

写真説明



チップ処理完了ですっきりした倉庫前。少しずつ増えてくるチップの山は、子どもたちと一緒に作る今年のカブトムシ産卵場所用には足りるだろう。



今月は、1月及び2月1回目の活動日に集めてきた林内の“台風被害散乱木”をチップパーによるチップがけ作業を女性メンバーに任せて処理してもらった。倉庫前に山積みしていた小枝は見る見るうちにチップ状に加工され、今年のカブトムシ産卵・生育場所用はかなり溜まってきた。女性メンバーのみなさんご苦労様。林内にはもう少し残っているのでよろしく。次回は、このチップに村内の馬事公苑から馬糞たい肥をもらってきての養分補給も大切な作業のひとつ。年間通じていろいろあるものです。



2月15日の里山グループの活動日に、コナラ2本の間伐・玉切り作業がなされたので、今日はその約50本の搬出と、シイタケほだ木として活用するためのシイタケ種ゴマの植え付け作業(穴あけと種コマ埋め作業)を実施した。種ゴマは400個入り2ケースを用意したが、半数のほだ木用が残ったのであと800個購入し、次回打ち込みを行う予定。(シイタケ種ゴマ400個入り2,000円、今年は4箱購入8,000円)



シイタケ種コマ埋め込み部に穴あけ作業



種コマの打ち込み作業



植菌が終わったホダ木



植菌作業が完了しなかった原木は乾燥防止のためブルーシートで覆っておくことに。



植菌が終わったホダ木は梅雨前まで仮伏せ保管



作業をしている近くでは、一昨年以前のホダ木から次々と若いシイタケが育っている。年間数回訪れる収穫期、今年の若木にも来春以降の収穫への期待が膨らむ。